

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成30年度採択）

中間評価（案）（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
30-7	養生技術・混和材料を活用した各地域のコンクリート構造物の品質・耐久性確保システムについての研究開発	横浜国立大学 教授 細田 暁	B
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>東北地方整備局の復興道路の試行工事ですすでに申請者らが構築したコンクリート構造物の品質・耐久性確保システムをベースに、全国の各地域の環境条件、材料事情のもとでの品質・耐久性確保システムを試行工事を通じて構築する。</p> <p>&lt;中間評価結果&gt;</p> <p>研究成果が各地域におけるコンクリートの品質に係るマニュアルに反映されるなど、研究は計画通り順調に進んでいるものと考えられるが、全国展開すべき事項の抽出について課題があることから、指摘事項に留意しながら現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p>&lt;今後の研究計画・方法への指摘事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本研究プロジェクトの範囲内での実施事項および達成目標を明確にし、取り組んでいただきたい。</li> <li>2. 本研究のプロジェクトの成果については、特定の地域での活用の積み上げのみに留まらず、一般化できる事項を整理し、全国共通に活用可能な成果としても仕上げていただきたい。</li> <li>3. あくまで本研究プロジェクトとして行う部分と他の予算や研究スキームによるものとの区別は明確にするとともに、研究成果の発表や本研究プロジェクトの成果の扱いについては、国総研との委託契約の規程に従うなど、コンプライアンスの確保には特に留意されたい。</li> </ol>			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第36回新道路技術会議において審議したものである。